



新しい「私たちのバス」

3月1日からバスの運行が変わります



まずはバスを使ってみよう ~バスの利用法いろいろ~

まずはバスに乗ってみましょう。バスは利用いただくことで、だんだん育っていきます。使いながらより良い仕組みを考え、みなさんと改善していきましょう。

公共交通が元気なまちは、にぎわいのあるまちへと発展していきます。新しく変わった高山市のバスの特徴に沿って使い方のご紹介をします。

利用例① 中心市街地の 総合病院や買物に

濃飛バスから高山濃飛バスセンターでまちなみバスに乗りかえれば、支所地域にお住まいの方も中心市街地の主な施設までスムーズに移動できます。

◆濃飛バス 平湯・新穂高線

町方09:08発⇒バスセンター09:28着

◆まちなみバス

(左回)バスセンター09:30発⇒日赤病院09:35着

(右回)バスセンター09:50発⇒アスモ前09:55着

その他、市役所、久美愛病院、福祉センター、市民文化会館、高山陣屋などに行くことができます。

利用例② バスを使っ ての 高校通学が可能に

これまで高校への通学バスがなかった高根地域から市街地の各高校へ通えるようになりました。バスは高山駅を經由し、各高校まで運行します。

◆のらマイカー 高根～朝日線

留之原公民館05:51発⇒朝日支所06:42着

◆濃飛バス 朝日線

朝日支所06:47発⇒高山高校岡本校舎07:30着

⇒高山西高校07:40着

その他、清見町大原地区、荘川町野々俣地区などからも通学可能になります。

利用例③ 土・日・祝日も バスでお出かけ

これまで平日運行しかなかった久々野町中組、上組地区、一之宮町段地区などからは毎日バスを使って高山市街地などへ行くことができます。

◆のらマイカー 久々野かみなか線

だんふれあいの家09:43発⇒久々野支所09:54着

◆濃飛バス 高山下呂線

久々野支所09:58発⇒バスセンター10:24着

その他新たに、荘川、一之宮、朝日、高根(一部路線を除く)、国府、上宝の地域において土・日・祝日も運行します。

利用例④ 市民乗車バスを使っ て ゆったりと温泉へ

日ごろの疲れを癒しに奥飛驒温泉郷へ。例えば、高山濃飛バスセンターから平湯温泉までの運賃は通常ですと1,530円ですが、お得な市民乗車バスを使うことで1,000円で行くことができます。

◆濃飛バス 平湯・新穂高線

バスセンター12:40発⇒平湯温泉13:38着

その他バスで利用しやすい温泉としては、奥飛驒温泉郷のほか、桜香の湯(荘川町)、しぶきの湯(国府町)などがあります。

市では、市民のみなさんが将来にわたって安全・安心で、便利に利用できる公共交通の実現するために策定した「高山市地域公共交通総合連携計画」に基づき、3月1日からバスの実証運行を始めます。
公共交通を守り育てていくのは、私たち一人ひとりです。今号では、バスの使い方やより良い公共交通へと改善していくための方法などについてご紹介いたします。

問合せ 地域政策課
☎35-3524

新しい料金体系のご案内

●基本運賃

・のらマイカー・まちなみバスの運賃は、全路線1乗車100円です。濃飛バスの運賃は基本的にこれまでと同じですが、「市民乗車バス」を持つとお得に利用できます。

●市民乗車バス(福祉課、地域政策課、各支所地域振興課、市内の濃飛バス各窓口で発行)

・濃飛バスの運賃が優遇される高山市民向けの乗車バス(無料発行)です。なお、市民であることを確認できるものが必要です。

①旧市町村地域内での乗降であれば、1乗車100円で利用できます。

②旧市町村地域を越える利用は1乗車・上限1,000円で利用できます。(小学生・各種障害者手帳所持者は上限500円。高速バス、特急バスなどは除く。エコバス、悠々手形との併用不可)

●回数券・定期券(濃飛バス各窓口で発行)

・のらマイカー・まちなみバス・濃飛バスのそれぞれにあります。

のらマイカー・まちなみバス回数券

100円券12枚綴り
1,000円

のらマイカー・まちなみバス定期券

期間	通学	通勤
1ヶ月	3,670円	4,280円
3ヶ月	10,460円	12,200円
6ヶ月	19,820円	23,120円
12ヶ月	39,640円	46,240円

◎時刻表配布場所:市役所市民コーナー(1階)、地域政策課(4階)、各支所地域振興課、濃飛バス各窓口

2011.3.1